



海面を泳ぎ回るクリイロカメガイ
11月27日、長島町の蔵之元港

北薩に「流氷の天使」!?

長島と阿久根 クリイロカメガイ群舞

長島町蔵之元港などで27日、巻き貝の一種クリイロカメガイが大量に確認された。「流氷の天使」と呼ばれるクリオネによく似た、変きようある姿で岸壁や船の周囲を泳ぎ回っている。

羽ばたくように移動する。同港で観光グラスボートを運航するえびす屋の岩崎明船長(73)は26日午後、海面を漂う黒い帯状の群れを発見。「以前にも数回見かけた。たいてい1日以内はなくなり、次の日までいるのは初めてでは」と話した。群れは阿久根市の黒之瀬戸付近でも見られ、住民らから「見慣れない生き物」「クリオネみたいだけど、寒い海にいたのでは」と驚く声が聞かれた。かごしま水族館(鹿児島市)の吉田明彦展示第一課主幹(59)によると、ふだんは外海を漂っており、風向きや潮流次第で5月ごろに鹿児島沿岸にやってくる。「今年は量が多いようだが、危険な生き物ではない。豊かな海の象徴」と話した。

【問1】 クリイロカメガイは、何の一種なのでしょう

巻き貝

【問2】 クリオネは、何と呼ばれるのでしょうか。5字で抜き出しましょう

流氷の天使

【問3】 クリイロカメガイの体長は、何センチなのでしょう

約1センチ

【問4】 透明な体の中にある栗色のものは、何でしょう

貝殻

【調べてみよう】 クリイロカメガイやクリオネについて、調べよう。

むずかしい漢字とことば

蔵之元(くら・のもと) 巻(ま)き 確認(かく・にん)

呼(よ)ぶ 姿(すがた) 岸壁(がん・べき) 透明(とう・めい) 栗色(くり・いろ)

貝殻(かい・がら) 翼(つばさ) 翼足(よく・そく) 触手(しょく・しゅ) 驚(おどろ)く

漂(ただ)よう 潮流(ちよう・りゅう)＝海水の流れ 沿岸(えん・がん) 危険(き・けん)

象徴(しょう・ちょう)＝見えないものを、見えるもので表すこと

